

北師同窓会将来検討委員会のまとめ報告

平成30年度に「将来検討準備委員会」を立ち上げ、そのまとめを受け、令和2年度から令和4年度にかけて、「将来検討委員会」の中で、以下の項目の検討課題を受けて、検討を重ねてきた。

○検討課題

- (1) 会員減、収入減への対応（会員数確保への取組）
- (2) 北師会館の今後の在り方について（老朽化対策、存続か売却か）
- (3) 将来を見据えた安定した予算執行の検討（支出減への取組、公益目的支出計画）
- (4) その他、準備委員会で俎上に上った課題（地区の統合について）

○検討課題に対する報告

1. 会員減、収入減への対応

- 会員減、収入減への対応として、本部会費の変更は行わない。
- 会員の確保や新入会員の獲得に関して、新たな事業の検討やこれまでの事業の見直しを行う。
- 本部が保有する同窓生名簿等のデータや各種資料等を地区と共有・活用し、会員増や同窓会活動の活性化につなげていく

2. 北師会館の今後の在り方について

- 北師同窓会の活動の拠点として、売却せず今後も存続していく。
- 女子学生会館として、今後も多くの後輩たちに貸し出していく。
- 公益目的支出の財源を有効に活用し、資産としての北師会館の維持、修繕に努める。
- 多くの会員、在校生、地域に対して、北師会館の活用を積極的にPRしていく。

3. 将来を見据えた安定した予算執行の検討

- 女子学生会館の満室の確保や会館貸出事業などのPRを行い、収入の安定を図る。
- 収支のバランスを考えて、現在の事業内容や形態等を見直し、経費の縮減を図る。
特に、公益目的支出計画完了までの流動資産の確保には留意する。
- 今後、北師会館の維持修繕のための支出が増えることが想定されることから、その財源となる公益目的支出計画については、随時支出の重みづけを見直していく。

4. その他、準備委員会で俎上に上った課題

- 現時点では地区の統合は行わないこととする。
- インターネット、ホームページやオンライン会議等の活用を通して、地区へのサポートを強化する。

この報告が、北師同窓会の今後の活動や運営等の指針、一助となる方向で取り組んでほしいとおもいます。